

関係代名詞の応用

1. 関係代名詞と前置詞

関係代名詞が前置詞の目的語になる場合、

関係代名詞＋～＋前置詞

前置詞＋関係代名詞＋～

このどちらの語順でも構いません。例えば、

例文：

She is Akiko.

(彼女はアキコです。)

I talked with her yesterday.

(私は彼女と昨日話しました。)

この2文を関係代名詞を使って1文にした場合、

[関係代名詞＋～＋前置詞]

She is Akiko who I talked with yesterday.

[前置詞＋関係代名詞＋～]

She is Akiko with whom I talked yesterday.

このように、前置詞をそのままの場所に置いていても、関係代名詞の直前に持ってきてても OK です。

ただ、先行詞が人で目的格の場合は、**who** と **whom** のどちらでも使えますが、上の文のように、

「関係代名詞＋～＋前置詞」の場合→**who**

「前置詞＋関係代名詞＋～」の場合→**whom**

このようにするのが一般的です。

2. 関係代名詞の what

1 what の意味

関係代名詞 **what** は、「～こと」「～もの」の意味になります。また、**who** や **which** は先行詞を必要としますが、関係代名詞 **what** は、**what** 自身が「**the thing(s)**」という先行詞を含んでいるので、先行詞は必要ありません。

what = 先行詞不要

さらに、「**the thing(s)+which**」に書き換えることができます。

what = **the thing(s)+which**

では例文で確認します。

例文：

「私が欲しいものはステレオコンポです。」

What I want is a new component stereo.

The thing which I want is a new component stereo.

このように、関係代名詞 **what** は先行詞が不要で、「**the thing(s)+which**」に書き換えられることを覚えて下さい。

2 what の用法

関係代名詞 **what** に導かれる節は名詞節なので、「主語、補語、目的語」のいずれにもなります。

ではいつもと少し変えて、物語形式の例文で学習します。

題名：「彼とペン」

[主語になるパターン]

例文：「彼が無くしたのはペンです。」

What he has lost is his pen.

(The thing which he has lost is his pen.)

[補語になるパターン]

例文：「これが私の探していたものです。」

This is what I'm looking for.

(This is the thing which I'm looking for.)

この補語になる場合は、1 で学んだように前置詞を前に出しても OK です。

This is what I'm looking for.

= **This is for what I'm looking.**

This is the thing which I'm looking for.

= **This is the thing for which I'm looking.**

[目的語になるパターン]

例文：「持ち物には名前を書かないといけませんよ。」

You must name what you have.

(You must name the things which you have.)

ペンが見つかってよかったです。

3 what の慣用表現

関係代名詞 **what** を使った表現はたくさんあります。よくでるものを紹介しますので、学習に役立ててください。

○ what you call, what is called

意味： 「いわゆる」

直後には名詞か形容詞がきます。コンマは不要です。

例文：

He is what you call a walking dictionary.

(彼はいわゆる歩く辞書だ。)

○ What with A and (what with) B

意味： 「A やら B やらで」

カッコの (**what with**) は省略可能です。ほとんどの場合文頭で使用し、直後にコンマを置きます。そして、悪い意味でよく使用されます。

例文：

What with loneliness and anger, he shouted.

(寂しさやら怒りやらで、彼は叫んだ。)

○ **what is+比較級**

意味： 「さらに～」

文頭、文中のどこでも用いられます。直前か直後に、文中で使用する場合は両方にコンマが必要です。

例文：

What is worse, it begins to rain.

(さらに悪いことに、雨が降り出した。)

He is rich, and what is more, he is smart.

(彼はお金持ちだ、その上、頭がいい。)

○ **A is to B what C is to D**

意味： 「AのBに対する関係は、CのDに対する関係と同じ。」

「日本語でも意味がわからない」という方がいるかもしれませんが、意外とよく出題されます。例文を見れば、意味がわかると思いますので、例文で暗記して下さい。

例文：

Eating is to man what fueling is to cars.

食事の人に対する関係は、給油の車に対する関係と同じ。

○ what+代名詞+used to be

意味： 「以前の～」

この表現はよく見かけます。必ずマスターして下さい。

例文：

I'm not what I used to be.

(以前の俺ではないぞ。)

Copyright (C) 2008 All Rights Reserved, ちょいデブ親父の英文法